



平成 23 年 1 月 11 日

各 位

会 社 名 日本ハウズイング株式会社
代表者名 代表取締役社長 小佐野 台
(コード番号 4781 東証第二部)
問合せ先 取締役常務執行役員企画部長
谷 淵 達 雄
(TEL 03-5379-4141)

マンションによる「国内クレジット制度^{※1}」の事業計画案提出について

～LED等を利用した管理組合向けのプログラム型排出削減事業では国内初の申請～

日本ハウズイング株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：小佐野台）は、管理を受託するマンションの共用部分を対象にしたLED等の省エネ型照明設備の導入によるCO₂削減事業計画案を、平成22年12月27日付で国内クレジット認証委員会事務局^{※2}へ提出いたしました。これは、国内クレジット制度において、マンションの管理組合が参加するLED等を利用したプログラム型排出削減事業としては、国内初となる申請であります。

※1 国内クレジット制度は、京都議定書目標達成計画(平成20年3月28日閣議決定)において規定されている、大企業等による技術・資金等の提供を通じて、中小企業等が行った温室効果ガス排出削減量を認証し、自主行動計画や試行排出量取引スキームの目標達成等のために活用できる制度。
平成20年10月に政府全体の取組みとして開始され、中小企業のみならず、民生部門(業務その他、家庭)、等における排出削減も広く対象となっている。

※2 経済産業省、環境省及び農林水産省が共同で事務局を務める、国内クレジット制度を円滑に運営するために設けられた組織。

(国内クレジット制度 HP より抜粋)

記

1. 背景

国際的な地球温暖化ガス削減への取組みが進められている中、国内においてもECOポイント制度の導入やカーボンオフセットをはじめとした各種の温暖化ガス削減に向けた活動が広まってきております。当社においても、太陽光発電設備の設置や省エネ型照明設備の提案などに取組んでいるところであり、その取組みを国内クレジット制度の活用により社会に見える形にすることで、当社のCSR活動及び国内のCO₂削減運動の一助に繋げてまいります。

2. 事業の内容

本事業は、日本ハウズイングの36万戸を超す管理実績を最大限に活かし、マンション管理組合と共同で省エネ型照明設備の普及を広げ、電力消費の削減を図りながら、地球環境への貢献を身近に感じてもらうことを目的としています。

マンション1棟あたりの排出削減量は僅かではありますが、日本ハウズイングがバンドリング(同一の方法論による小規模な削減事業を束ねて一つの削減事業とする手法)を用いて事業化し、管理組合の省エネ活動を後押しします。

具体的には、LED・CCFL(冷陰極蛍光灯)等の省エネ型照明設備を導入した管理組合に、排出削減事業者「ECOするマンションの会」へ加入していただき、日本ハウズイン

グがその事務局を務めて会の運営・管理を行います。管理組合が削減したCO₂は、「ECOするマンションの会」経由で国内クレジットとして売却され、売却益は管理組合に還元されます。

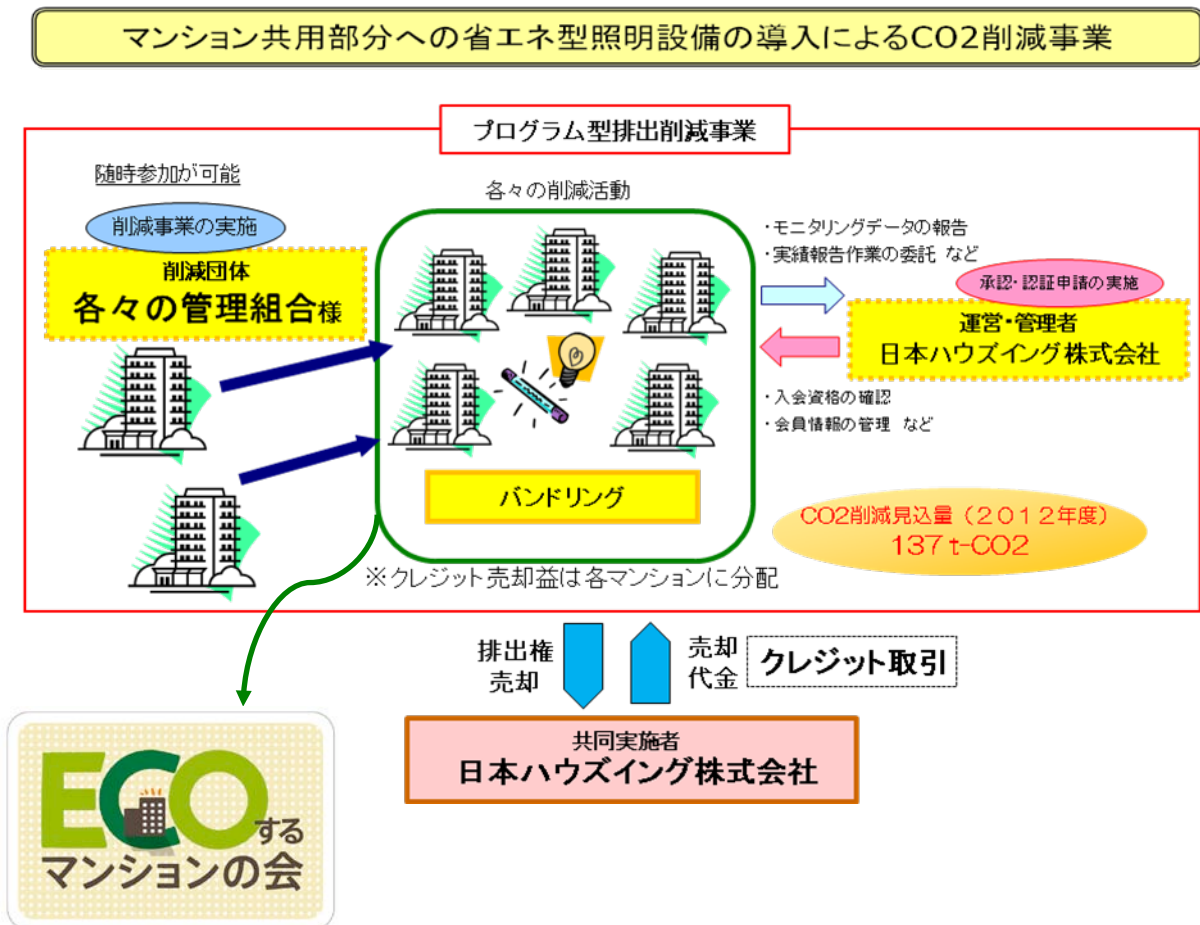
3. 「ECOするマンションの会」の内容

「ECOするマンションの会」とは、日本ハウズイングが管理を受託しているマンションの管理組合様に、総会での意思決定のもと任意でご入会いただく会の名称です。国内クレジットの制度上では同会が「排出削減事業者」の立場となり、省エネ型照明設備を導入したことで削減した排出量をバンドリングし、国内クレジット認証委員会へ報告を行います。報告後、審査を経て認証された排出権（国内クレジット）は日本ハウズイングへ売却され、その売却益は会員（管理組合様）へ分配されるとともに、日本ハウズイングが購入した排出権はそのまま自社で償却されます。

尚、当社は「ECOするマンションの会」の特別会員並びに本事業の共同実施者として参画し、管理組合の負担を極力軽減し円滑な運営・管理をサポートしてまいります。

今後は、管理組合様に向けて積極的に本制度の趣旨をご説明の上「ECOするマンションの会」の会員を増やし、省エネ活動の輪を広げてまいります。

【本事業のイメージ】



以上